

[083_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/1800875>

出版情報：法政研究. 83 (4), 2017-03-10. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

法政研究 第八三卷（一一—二合併・三号・四号）総目次

論 説

号 通頁

裁判所における情報公開

九州大学大学院法学研究院教授 村上 裕章 一・二 一

——司法行政文書を中心として——

過剰防衛における責任減少

九州大学大学院法学研究院助教 徳永 元 一・二 二九

——適法行為の期待可能性論からの序論的考察

担保権実行中止命令の対象となった債権の取立ておよび費消

九州大学大学院法学研究院准教授 浅野 雄太 三 二六七

——二つの高裁決定を素材として——

フランスにおける刑事責任と年齢の関係について

九州大学大学院法学研究院教授 井上 宜裕 三 二九五

——LABOUBE事件判決を素材として——

多階層保有証券に関する一覚書

九州大学大学院法学研究院教授 上田 純子 三 三一一

——グローバル・カストディアンの視点から——

阿片と日華賠償問題

九州大学大学院法学研究院教授 熊野 直樹 三 三四三

梅謙次郎の子供たち

九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 三 三八一

北洋政府期法典編纂機関の変遷について

九州大学大学院法学研究院准教授 西 英昭 三 四五三

——法典編纂会・法律編査会・修訂法律館——

近代東アジアにおける国際法受容の諸段階

九州大学大学院法学研究院准教授

韓 相熙 三

七三六

——1864～1910年間に日中韓越で出版された著作を

中心に——

金田平一郎と九州帝国大学

九州大学大学院法学研究院准教授

和仁 かや 三

四八五

エジプトにおける国際法受容の一側面

九州大学大学院法学研究院講師

沖 祐太郎 三

五〇五

——フランス語版『戦争法』（カイロ、一八七二年）の

テキスト分析を中心に——

オッペンハイムの慣習国際法理論

九州大学大学院法学府博士後期課程

小栗 寛史 三

五三五

——黙示の同意と国際法の普遍性——

太平洋戦争開戦直前の自衛権

日本学術振興会特別研究員(RPD)

西嶋美智子 三

五六三

——日米交渉期の日米を中心として——

喧嘩両成敗観念の紛争処理法としての性格に関する試論

立命館大学法学部准教授

河野 恵一 三

五九一

——近代紛争処理制度の通時代的理解に向けた論点の

再整理と展望——

ノルマン征服から13世紀初めまでのアングロ・サクソン諸

熊本大学法学部教授

苑田 亜矢 三

六九六

法集

——手書本の伝来状況に着目して——

Moratorium in Japanese Medieval Law

同志社大学法学部・
大学院法学研究科教授

西村 安博 三

六五八

戦間期国際法学における国際組織の位置づけ

南山大学総合政策学部教授 山田 哲也 三 六一七

——J.L. Briertyを題材として

九州帝国大学法学部と吉野作造(一)

九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 四 七三七

——九州帝国大学法学部内証事件の調停者——

過剰防衛における責任減少に関する判例・学説の分析

九州大学大学院法学研究院助教 徳永 元 四 八一三

研究ノート

司法アクセスとLegal XML

九州大学大学院法学研究院准教授 上田 竹志 一・二 二六六

日本地方自治法制における自己統制

九州大学大学院法学研究院教授 田中 孝男 四 八八三

玄海原発の防災態勢再編をめぐる政治過程

九州大学大学院法学研究院教授 出水 薫 四 九一一

——地域政治過程における物理的距離という要素を考察
するための準備的事例分析——

資料

クリスチャン・イエーガー「個人責任である刑法における

九州大学大学院法学研究院准教授 野澤 充 一・二 二四二

第三者作用問題としての答責性および責任」

一九世紀フランス法における抵当権の「滌除」の概要 (三) 九州大学大学院法学研究院准教授 香山 高広 一・二 八三

—— オブリー＝ローの所説をよりどころに ——

刑事施設職員のための欧州倫理規程 九州刑事政策研究会 訳 一・二 二二二

—— 2012年4月12日の欧州評議会閣僚委員会の勧告

第5号 ——

刑事施設における外国人被收容者に関する欧州規則とコン 九州刑事政策研究会 訳 一・二 二〇八

メンタリー

犯罪少年に関する一九四五年二月二日のオールドナンス フランス刑事立法研究会 訳 一・二 一一一

第四五——一七四号 (三・完)

治療を理由とした刑の修正を受ける人々の居場所と援助 フランス刑事立法研究会 訳 四 九四一

—— 尊厳をもってケアを受ける ——

(受け入れ先紹介実用ガイドブック)

判例研究

社会法判例研究 社会法判例研究会 一・二 一二五

社会法判例研究 社会法判例研究会 四 九六九

社会法判例研究 社会法判例研究会 四 九八五

著作目録

直江真一教授 著作目録
柳原正治教授 著作目録

三 三